

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田市金足追分字海老穴 102-4
名称 秋田県立金足農業高等学校
代表者 校長 松田 聡

秋田県立金足農業高等学校

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

秋田の未来を創造し、持続可能な地域社会を支えるソーシャルキャピタル（協調行動が作りだす社会関係資本）の構築や、Society 5.0 に対応できる社会の実現に向けて、自らの意思で地域マネジメントに貢献する高度職業人の育成ならびに資質・能力の向上を目指す。具体的な取組としては、経済・社会・環境の3側面に準拠した環境保全や社会福祉活動の実施、新商品の開発等を通じ目標の達成に取り組む。

3側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告)</small> 初回登録年月日：R4年1月17日	関連する主な SDGsゴール (最大3つ)
☑経済 ☑社会 □環境	A.学校経営方針の共有化と達成への取組 B.布ナプキンをウガンダの女性へ配付 C.SDG4 教育キャンペーンへの参加 D.パラリンピック教材 I'mPOSSIBLL 活用	A.校内指定の中期ビジョンの数値を目標に近づける。 B.国際協調のもとで貧困対策、福祉活動を実施する。 C.持続可能な社会の実現に向けて学習を実施する。 D.社会的政治的な貧困対策として学習を進める。	・中期ビジョン達成率70%以上の項目が80%から90%へ増加 ・布ナプキン50枚をJICAを通じてウガンダへ配布 ・教育キャンペーンへ4時間参加、教材は5時間活用(2021→2022)	3 4 10
☑経済 □社会 ☑環境	A.廃棄食品の積極的な活用と推進 B.調理、被服実習でのゴミ削減 C.健やかな生活のための栄養学の実践 D.SATOYAMA イニシアティブへの参加	A.廃棄食品を活用した商品数の増加と新商品定着化。 B.ゴミが最小限となる実習を実施し、使う責任を果たす。 C.外部と連携して衣食住の自立ができる授業の実践。 D.GEF-satoyamaProject 参加に向けた準備を進める。	・廃棄野菜の利用加工や酒粕の二次利用に関する研究等を実施し、生活科学科では梨コンポートの商品化を定着化している ・外部講師による授業実践は20回程度の実施(2021→2022)	11 12 17
□経済 ☑社会 ☑環境	A.ICT・スマート農業を活用した学びの推進 B.桜並木の保全と快適な生活空間づくり C.森林環境の保全 D.八郎湖の水質改善	A.ICTを活用した革新技術の習得や学びを実施する。 B.病害枝の切除と病虫被害からの樹勢回復を行う。 C.地域での植林活動を実施。 D.アワ撲滅に向けた新技術の開発・塩類流出の抑制。	・ICTやスマート農業に関する現場見学や実技講習など8回を実施した。また、地域での剪定活動やSDGsワークショップ等の環境保全活動を5回実施(2021→2022)	9 13 15

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	